

SUPER FORMULA、国産セルロースエタノール混合低炭素ガソリン(E10)

2026シーズン供給に向けて raBit、ENEOS と協業開始 | 9月テスト使用へ

F1に次ぐ速さを誇り、国内最高峰で最速の自動車レースである全日本スーパーフォーミュラ選手権(以下「SUPER FORMULA」)を運営する株式会社日本レースプロモーション(以下「JRP」)は、2026シーズンへの低炭素ガソリン(E10)供給に向け、次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合(以下「raBit」)及びENEOS株式会社(以下「ENEOS」)と基本合意書を締結いたしました。



<写真：8/8に福島県大熊町で行われた記者発表会の様子>

8月9日(土)・10日(日)に宮城県で開催された2025 SUPER FORMULA Rd.8 東北大会の前日に、東日本大震災からの復興に取り組む福島県大熊町を拠点にセルロースエタノール燃料の製造技術を研究するraBitの所在地で3社代表者が出席する記者発表会及び施設見学会を実施しました。raBitが生産する国産セルロースエタノールをENEOSがSUPER FORMULAのレース環境下でも耐え得る低炭素ガソリン(E10)として品質設計及び供給を行い、JRPは本年9月からテスト走行を重ね、2026シーズン使用に向けた準備を開始していきます。

記者発表会の様子



<写真（左から）：JRP 代表取締役社長 上野、raBit 理事長 中田様、ENEOS 常務執行役員 藤山様>



<写真（左から）：福島県企画調整部課長 黒田様、大熊町副町長 新保様、会場の様子>

施設見学会の様子



<写真（左から）：施設見学会の様子（屋外）、施設見学会の様子（屋内）、協業3社代表者>

9月開発テスト取材のご案内（撮影・取材可能）

日 程：2025年9月8日（月）～11日（木）※車両走行は9日（火）～11日（木）の3日間

場 所：富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町中日向 694）

車 両：SF23 開発テスト車両2台（通称：赤寅、白寅）

赤寅担当ドライバー：国本 雄資（2016 シリーズチャンピオン）

白寅担当ドライバー：山本 尚貴（2013、2018、2020 シリーズチャンピオン）

内 容：低炭素ガソリン（E10）、他

取材申請：下記、JRP 広報担当までお問い合わせください

報道機関からのお問い合わせ先

株式会社日本レースプロモーション 広報担当 TEL. 03-5801-6470 E-mail. media@superformula.net

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304